

科目ナンバー	EDU-3-012-ky			科目名	日本語教育実習(事前事後指導含む。)			
教員名	高橋 裕輔			開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	2	
概要	日本語指導が必要な児童への日本語支援・教科学習支援を体験しながら、日本語教育の役割と日本語教師の仕事について実践的に学ぶ。また、日本語教室に通級する児童を対象とした日本語活動を計画・実施する。この授業では、伊勢崎市教育委員会、及び同市内の小学校のご協力を得て、小学校の日本語教室での教科学習を支援する。日本語教室での学習支援の他に休み時間や放課後、給食や掃除の指導、あるいは職員室での先生方の手伝いも進んですることが求められる。実習は授業以外または学期外の時間で、各期5日間(月曜～金曜)、計10日間行われる。本授業では実習の事前指導、報告、振り返り等を行う他、日本語活動の準備、日本語教材の作成も行う。							
到達目標	・実習では、その場の状況に対応して、一人一人の児童に合った学習支援を行うよう努めること。・授業では、実習で学んだことについて報告・共有し、意見交換しながら学生同士学び合うこと。・自ら課題を設定し、その課題への取り組み方を考え、実行すること。・日本語教育の役割について理解を深め、自分がどのように支援に携われるかをかんがえること。							
「共愛12の力」との対応								
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力		
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○	
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力	○	構想し、実行する力	○	
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	○	
教授法及び課題のフィードバック方法	授業は、発表・演習の形式で進める。グループ、または全員での話し合いが主な活動となる。本講義は、全体を通して学生同士の学び合いを重視するため、意見交換時には自分の意見を整理したうえで積極的に発言をし、学びに貢献することが求められる。							
アクティブラーニング		○	サービ斯拉ーニング		○	課題解決型学修		○
受講条件 前提科目	本科目を受講する前に、「日本語教育概論」「日本語教授法」「日本語教授法演習」「日本語教授法II」を履修済みであること(外国人留学生は日本語教育能力試験2級(N2)に合格していることが必要である。)実習の担当となった週は、就職活動やアルバイト等、個人的な理由で欠席する事は認められない。真剣かつ責任を持って実習に取り組むことが厳に求められる。							
アセスメントポリシー及び評価方法	・実習中の活動・日本語活動 40% ・課題(レポート、指導案、教材作成など)40% ・授業参加度(グループワークの取り組み、ディスカッション、発表、報告など)20%							
教材	なし。							
参考図書								
内容・スケジュール	<p>前期 実習前】日本語を母語としない児童の事例を検討する。(課題レポート提出) 4月下旬～5月上旬には、実習校を訪問する。</p> <p>【前期 実習】実習担当者は、毎日の活動を記録し、担当講師に報告する。実習最終日の金曜日(小学校の都合によっては木曜日)には、少人数の児童を対象に20分程度の授業を行うことになる。 教える内容、指導案と教材の作成担当の先生方のご指導をいただきながら、各自行う。実習終了後は報告書を書き、授業で実習中の活動について報告する。その際、実習中に課題となった点について学生同士で意見交換をする。</p> <p>7月には、日本語教室通級児童を対象とした日本語活動を、両小学校で行う。授業では、グループで活動について計画、準備、練習をし、活動後は振り返りを行う。前期の最終日には、まとめのレポートを提出する。【後期 実習前】前期の実習体験を踏まえ、後期の実習での目標とその取り組み方を課題として設定する。</p> <p>【後期 実習】実習担当者は、各自設定した課題について、その実際の取り組みと児童の様子、成果を毎日記録し、教師に報告する。金曜日の20分間の授業も前期と同様に準備する。 実習終了後は、授業で報告・意見交換を行う。12月には、小学校で日本語活動を行う。もしくは、グループで日本語教室で使用できるような教材を作成する。授業ではその準備を行う。 「日本語教室サポーター派遣プログラム報告書」の原稿を作成する。</p> <p>【授業最終日】実習校を訪問し、教育実習の報告と各自が作成した教材の発表を行う。この1年間で学んだことをまとめた最終レポートを提出する。</p>							

Number	EDU-3-012-ky	Subject	Teaching Practice for Teaching Japanese		
Name	高橋 裕輔 (Takahashi Yusuke)	Year and Semester	Full-year for 2020	Credits	2
Course outline	0	This subject is a course to train Japanese language teachers. Students will practice in the Japanese class of elementary school in Isesaki city. The practical training period is ten days in the latter half of the previous term. For details, please see the explanation in Japanese.			